

(別添資料1)

事業所名

すたぁりっと 平野

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

29 日

法人（事業所）理念		「障がい者」という言葉をこの国から無くす									
支援方針		「コミュニケーション能力の成長」を最大の目的として、年齢と障がいの程度に合わせたステージでコミュニケーション能力を高める段階的なサポートを行っている。 中・高生：「社会」を明確な目的として、様々な場面に合わせた内容でSST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施、無理なくコミュニケーションを身につけていき社会への知識・経験を支援する。									
営業時間		10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	生活面や自立に必要なスキルの訓練（生活力、金銭感覚、時間の概念、携帯電話の使い方、身だしなみ、掃除、整理整頓、体調管理等）									
	運動・感覚	ビジョントレーニング ・ 運筆 ・ 粗大運動 ・ 微細運動 ・ バランス運動 ・ 姿勢の保持 ・ 身体及び移動能力の向上									
	認知・行動	時計を読むようにする（時間の概念の認知）・天気、気温、日付の把握と確認による季節の変化への興味や数の認知の獲得 タイムスケジュールを確認して行動ができる、物の管理や準備、片付けができる、小集団での活動を通じて周囲の環境を把握したり、それらに対応できる									
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションに必要な基本スキルの訓練（受発信力、表現力、傾聴力、理解力、集中力、思考力、状況把握力、姿勢や態度、挨拶等）									
	人間関係 社会性	共同社会（コミュニティ）に向けた力をつける訓練（パーソナルスペース、感情のコントロール、主体性、優先順位、柔軟性等）									
家族支援		・事業所で行っている支援方法をご家庭でも実践できるように声掛けの方法や、かわり方などを送迎時、面談時に具体的にお伝えする。 ・普段の様子や、変化のあったこと等を通所の都度、保護者様に共有する。						移行支援		・学校等での進学や進級時において、本人の状態や支援の方法などを共有・学校や地域などに参加するためにスキルを身につけると共に、保護者や学校等に支援内容を共有する。	
地域支援・地域連携		・地域のイベント（お祭り等）に参加し、交流を図る。 ・関係機関と定期的に連携会議を開催し、情報共有と役割分担について協議する。						職員の質の向上		・入社時の本部研修実施、その後現場にて本部職員によるフォローアップ研修実施。 ・1か月に1回以上の事業所内研修実施。	
主な行事等		・土曜日、祝日、長期休暇中にイベント実施。 〔中・高生〕企業の仕事体験会/利用児童による発案、企画イベント 、クッキング、製作イベント 等									